

介護職員初任者研修カリキュラム

項目	講義時間	通信相当分	実施場所 人数等	担当講師		実施内容及び実施方法
				[番号] 氏名	要	
1. 職務の理解 【基準時間6時間（うち通信上限0時間）】						
(1)多様なサービスの理解	3時間	0時間	かいごのみらい研修センター12名	[14]上原 一信	ア	(講義)介護と介護保険制度の意義、多様なサービスと介護職の仕事内容について学習する
(2)介護職の仕事や働く現場の理解	3時間	0時間	かいごのみらい研修センター12名	[14]上原 一信	ア	(講義)教材にて実際の現場が具体的にイメージできるようにする
小計	6時間	0時間	12名			
2. 介護における尊厳の保持・自立支援 【基準時間9時間（うち通信上限7.5時間）】						
(1)人権と尊厳を支える介護	1時間	5時間	かいごのみらい研修センター12名	[14]上原 一信	ア	(講義・通信)人権と尊厳について講義を行い、実際のかいごの場面での利用者との関わりを学ぶ
(2)自立に向けた支援	0.5時間	2.5時間	かいごのみらい研修センター12名	[14]上原 一信	ア	(講義・通信)自立の意味を理解し、自立支援に関わる介護職の役割を学ぶ
小計	1.5時間	7.5時間	12名			
3. 介護の基本 【基準時間6時間（うち通信上限3時間）】						
(1)介護職の役割、専門性と多職種との連携	1時間	0.5時間	かいごのみらい研修センター12名	[12]永田 佳代子	ウ	(講義・通信)介護職としての役割・専門性について学び、他職種との連携について理解する
(2)介護職の職業倫理	1時間	0.5時間	かいごのみらい研修センター12名	[12]永田 佳代子	ウ	(講義・通信)介護職としての倫理の意義を深く理解し、職務に生かせるようにする
(3)介護における安全の確保とリスクマネジメント	0.5時間	1時間	かいごのみらい研修センター12名	[12]永田 佳代子	ウ	(講義・通信)職務中での事故や感染のリスクと対応、重要性について理解する
(4)介護職の安全	0.5時間	1時間	かいごのみらい研修センター12名	[12]永田 佳代子	ウ	(講義・通信)介護職での心身の健康管理、事故やストレスを理解し安全の在り方について学ぶ
小計	3時間	3時間	12名			
4. 介護・福祉サービスの理解と医療との連携 【基準時間9時間（うち通信上限7.5時間）】						
(1)介護保険制度	0.5時間	2時間	かいごのみらい研修センター12名	[12]永田 佳代子	ウ	(講義・通信)介護保険制度創設の背景と目的・動向について学ぶ

(別紙様式4)

項目	講義時間	通信相当分	実施場所 人数等	担当講師		実施内容及び実施方法
				[番号] 氏名	要件	
(2)医療との連携とリハビリテーション	0.5時間	2時間	かいごのみらい研修センター12名	[12]永田 佳代子	ウ	(講義・通信) 介護職員が医療や看護、リハビリテーションの専門性と役割分担、連携について学ぶ
(3)障害者自立支援制度およびその他制度	0.5時間	3.5時間	かいごのみらい研修センター12名	[12]永田 佳代子	ウ	(講義・通信) 障害者自立支援法、障害者総合支援法について学び障害者福祉サービス等理解する
小計	1.5時間	7.5時間	12名			
5. 介護におけるコミュニケーション技術 【基準時間6時間（うち通信上限3時間）】						
(1)介護におけるコミュニケーション	1.5時間	1.5時間	かいごのみらい研修センター12名	[12]永田 佳代子	ウ	(講義・通信) 利用者に対し傾聴、共感、受容を理解し、コミュニケーションについて学ぶ
(2)介護におけるチームのコミュニケーション	1.5時間	1.5時間	かいごのみらい研修センター12名	[12]永田 佳代子	ウ	(講義・通信) 記録の意義・目的を知り情報の共有化、報告によりチームのコミュニケーションについて理解する
小計	3時間	3時間	12名			
6. 老化の理解 【基準時間6時間（うち通信上限3時間）】						
(1)老化に伴うこころとからだの変化と日常生活	1.5時間	1.5時間	かいごのみらい研修センター12名	[12]永田 佳代子	ウ	(講義・通信) 老化にとまなうこころとからだを理解し、様々な環境変化による心理への影響を学ぶ
(2)高齢者と健康	1.5時間	1.5時間	かいごのみらい研修センター12名	[12]永田 佳代子	ウ	(講義・通信) 高齢者に多い病気、加齢による筋・関節・骨の変化と日常生活での留意点について学ぶ
小計	3時間	3時間	12名			
7. 認知症の理解 【基準時間6時間（うち通信上限3時間）】						
(1)認知症を取り巻く状況	1時間	0.5時間	かいごのみらい研修センター12名	[12]永田 佳代子	ウ	(講義・通信) 認知症を取り巻く環境と、認知症ケアの基本的な考え方を学ぶ
(2)医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理	1時間	0.5時間	かいごのみらい研修センター12名	[12]永田 佳代子	ウ	(講義・通信) 認知症の理解を深め、認知症ケアのポイント、援助について学ぶ
(3)認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活	0.5時間	1時間	かいごのみらい研修センター12名	[12]永田 佳代子	ウ	(講義・通信) 認知症の特徴を知り具体的な関わり方について深く理解する

(別紙様式4)

項目	講義時間	通信相当分	実施場所 人数等	担当講師		実施内容及び実施方法
				[番号] 氏名	要件	
(4)家族への支援	0.5時間	1時間	かいごのみらい研修センター12名	[12]永田 佳代子	ウ	(講義・通信) 認知症のある家族への支援のあり方について学ぶ
小計	3時間	3時間	12名			
8. 障害の理解 【基準時間3時間(うち通信上限1.5時間)】						
(1)障害の基礎的理解	0.5時間	0.5時間	かいごのみらい研修センター12名	[12]永田 佳代子	ウ	(講義・通信) 障害の基本となるICFの理念について学び、障害の基礎を理解する
(2)障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかり支援等の基礎知識	0.5時間	0.5時間	かいごのみらい研修センター12名	[12]永田 佳代子	ウ	(講義・通信) 各障害の医学的側面・特徴を学び、支援についての基礎的な知識を身につける
(3)家族の心理、かかり支援の理解	0.5時間	0.5時間	かいごのみらい研修センター12名	[12]永田 佳代子	ウ	(講義・通信) 障害者家族の心理とストレスを理解した上で、家族への支援について学ぶ
小計	1.5時間	1.5時間	12名			
9. こころとからだのしくみと生活支援技術 【基準時間7.5時間(うち通信上限1.2時間)】						
I 基本知識の学習 (1.0~1.3時間)						
(1)介護の基本的な考え方	3時間	0.5時間	かいごのみらい研修センター12名	[12]永田 佳代子	ウ	(講義・通信) ICFに基づく生活支援のあり方の理解、理論に基づく介護の基本的な考え方を学ぶ
(2)介護に関するこころのしくみの基礎的理解	4時間	1時間	かいごのみらい研修センター12名	[12]永田 佳代子	ウ	(講義・通信) こころのしくみの中で感情や思考、認知について学び介護職としての支援のあり方を理解する
(3)介護に関するからだのしくみの基礎的理解	3時間	0.5時間	かいごのみらい研修センター12名	[12]永田 佳代子	ウ	(講義・通信・演習) 人体の構造やボディメカニクスの活用について学び、こころとからだの連鎖の仕組みについて理解する
I計	10時間	2時間	12名			
II 生活支援技術の講義・演習 (5.0~5.5時間)						
(4)生活と家事	4時間	0.5時間	かいごのみらい研修センター12名	[12]永田 佳代子	ウ	(講義・通信) 生活援助の意味や目的などの基本を学び、支援技術を理解する
(5)快適な居住環境整備と介護	3時間	0.5時間	かいごのみらい研修センター12名	[12]永田 佳代子	ウ	(講義・通信) 居住環境の基礎を理解し、身体状況に応じた環境整備や介護を学ぶ

(別紙様式4)

項目	講義時間	通信相当分	実施場所 人数等	担当講師		実施内容及び実施方法
				[番号] 氏名	要件	
(6)整容に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	4時間	0.5時間	かいごのみらい研修センター12名	[12]永田 佳代子	ウ	(講義・通信・演習) 整容に関する知識を理解するとともに、実技にて着脱介助を学ぶ
(7)移動・移乗に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	3時間	0.5時間	かいごのみらい研修センター12名	[12]永田 佳代子	ウ	(講義・通信・演習) 移動・移乗に関する基礎知識を学び、用具を使った活用、支援方法を習得する
(8)食事に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	4時間	1時間	かいごのみらい研修センター12名	[12]永田 佳代子	ウ	(講義・通信・演習) 食事の意義、環境整備の方法を理解し、実技にて食事介助の支援方法を習得する
(9)入浴、清潔保持に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	7時間	1時間	かいごのみらい研修センター12名	[12]永田 佳代子	ウ	(講義・通信・演習) 入浴と清潔の意義を理解し、実技にて入浴・整容用具の活用方法と支援方法を習得する
(10)排泄に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	7時間	1時間	かいごのみらい研修センター12名	[12]永田 佳代子	ウ	(講義・通信・演習) 排泄に関する基礎知識を学び、環境整備の理解、ところとからだの理解と支援方法について実技を行う
(11)睡眠に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	7時間	1時間	かいごのみらい研修センター12名	[12]永田 佳代子	ウ	(講義・通信・演習) 睡眠の基礎的知識を学び、ベッドメイキング・体位交換の介護技術を習得する
(12)死にゆく人に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	7時間	1時間	かいごのみらい研修センター12名	[12]永田 佳代子	ウ	(講義・通信) 終末期ケアの概念、留意点を学び終末期の基本的な医療について理解する
Ⅱ計	46時間	7時間	12名			
Ⅲ 生活支援技術演習						(10～12時間)
(13)介護過程の基礎的理解	3時間	1.5時間	かいごのみらい研修センター12名	[12]永田 佳代子	ウ	(講義・通信) 介護過程の目的・意義を理解し、基本的情報の整理、アセスメント、介護計画の展開を学ぶ
(14)総合生活支援技術演習	4時間	1.5時間	かいごのみらい研修センター12名	[12]永田 佳代子	ウ	(講義・実技・演習) 一連の生活支援を提供する際の視点・自立に向けた介護過程の展開方法を考え、事例を使った演習を

(別紙様式4)

項目	講義時間	通信相当分	実施場所 人数等	担当講師		実施内容及び実施方法
				[番号] 氏名	要件	
						する。
Ⅲ計	7時間	3時間	12名			
小計	63時間	12時間	12名			
10. 振り返り 【基準時間4時間（うち通信上限0時間）】						
(1)振り返り	3時間	0時間	かいごのみ らい研修セ ンター12名	[12]永田 佳代子	ウ	今までの講義・演習を通じて学んだことを振り返り、習得したことを確認し、各自発表する。
(2)就業への備えと 研修修了後における 継続的な研修	1時間	0時間	かいごのみ らい研修セ ンター12名	[12]永田 佳代子	ウ	継続的な学習の必要性を理解し、キャリアパスについて学ぶ
小計	4時間	0時間	12名			
合計	89.5時間	40.5時間	12名			

修了評価 【基準時間1時間以上】						
項目	通学日時 (時間)	通信相当分	実施場所 人数等	担当講師		実施内容及び実施方法
				【講師番号】 氏名	要件	
修了評価	2時間		かいごのみ らい研修セ ンター12名	[12]永田 佳代子	ウ	全てのカリキュラムを修了し、修了試験を実地する。試験は択一式による。 70点以上=合格

- 注1 「項目」欄には、各科目を細分化した項目名又はその読み替えにより事業者毎に定める項目名を記載する。項目数が多く、欄が足りないときは、適宜追加して記載する。
- 注2 講義を通信の方法で行う場合、「通信相当分」欄に、通信で学習する内容に相当する講義時間数（科目毎に別紙4に定める時間数を上限とする）を記載する。
- 注3 「担当講師」の「番号」及び「要件」欄には、講師一覧表（別紙様式5）に記載した「番号」及び「講師要件」を転記する。
- 注4 「実施内容及び実施方法」欄には、講義及び演習の具体的進め方や時間、実習を行う場合は実習の内容や時間、方法等を記載する。欄内に記載できない場合は、科目毎に別葉に記載する。
- 注5 記入欄が不足する場合は、適宜欄を追加し、本様式に準じた様式で記入する。